

「おしゃれ白書 2003」にみる  
「現代女性にとって魅力的な女性像」  
～その 1：回答者の群分け～

- 「魅力的な女性は？」との質問に、全体では【生き方】、【思いやり】、【性格】、【年齢を重ねた美しさ】が上位に集まった。
- 「魅力的な女性は？」との質問に対する回答から、回答者 910 名が
  - ・あらゆる項目の逐一を女性の魅力として捉えるタイプ<sup>o</sup>の「高感度全方位型(95 名)」
  - ・【スタイル】、【性格】、【優しさ】に強く反応するタイプ<sup>o</sup>の「積極外向型(132 名)」
  - ・【教養】、【たしなみ】を推すタイプ<sup>o</sup>の「教養たしなみ型(125 名)」
  - ・最も回答件数が少なく関心の高くないタイプ<sup>o</sup>の「消極低関心型(558 名)」
 の 4 群に分類された。
- 「魅力的な女性とは？」との質問で得られた回答は、必ずしも回答者自身が行っている「魅力的になるための気配り」とは一致するものではなく、むしろ「理想（あこがれ）の女性像」としてイメージされているものと考えられる。

要旨

- ・ 15～64 歳 910 名の調査対象者に、「魅力的な女性とは？」との設問で、【顔】、【スタイル】、【ファッション】、【性格】、【知性・教養】、【品性・たしなみ】、【ライフスタイル】に関わる評語 33 項目の中から回答数に制限を付けずに答えてもらった。
- ・ 全体では平均 10.4 件の回答があり、【生き方】、【思いやり】、【性格】、【年齢を重ねた美しさ】が上位に集まった。
- ・ 「魅力的な女性とは？」と訊いて得られた回答をクワック分析することによって、調査対象者を「高感度全方位型(95 名)」、「積極外向型(132 名)」、「教養たしなみ型(125 名)」、「消極低関心型(558 名)」の 4 群に分類した。
- ・ 「高感度全方位型」は平均年齢 29.2 歳と若く、既婚率も 39%と低かった。あらゆる項目に対して感度高く反応し、逐一を女性の魅力として捉えていた。
- ・ 「積極外向型」は平均年齢 30.4 歳、既婚率 47%と、「高感度全方位型」より若干高めになっていた。「高感度全方位型」同様、魅力的な女性については、【スタイル】に次いで、【性格】、【優しさ】が上位を占めるが、【品性】、【知性】、【立ち居振る舞い】、【華】への反応は低かった。
- ・ 「教養たしなみ型」は平均年齢が 40.9 歳、既婚率 70%といずれも最も高かった。魅力的な女性については、【生き方】、【年齢を重ねた美しさ】を評価し、【知性】、【ライフスタイル】にも回答が多く寄せられているが、【顔立ち】に対する反応は極めて低かった。
- ・ 「消極低関心型」は平均年齢 38 歳、既婚率 63%であるが、全体の 60%を占め、魅力的な女性に関する回答数は 6.8 件と極めて低く、他の群と比較して関心の低さが現れていた。

2004/8/26

ポーラ文化研究所

(担当：小松 秀雄)

## ． 目的

現代女性が抱く魅力的な女性のイメージについて調査した。更に魅力的な女性は？と訊いて得られた回答からクスタ分析によって、回答者の群分けを行った。各群における化粧意識、おしゃれ意識、生活意識について解析した。

## ． 調査概要

「おしゃれ白書 2003」はポーラ文化研究所が 1991 年より継続している調査で、3 年毎に実施している。概要は以下の通りである。

調査対象 首都圏 30km 圏内  
調査対象者 上記エリア内に居住する 15 歳から 64 歳までの女性 910 人

### サンプルデザイン(単位：人)

15 - 18 歳	(高校生)	70
19 - 23 歳	(学 生)	70
19 - 23 歳	(社会人)	70
24 - 29 歳	(未 婚)	70
24 - 29 歳	(既 婚)	70
30 - 34 歳	(未 婚)	70
30 - 34 歳	(既 婚)	70
35 - 39 歳		70
40 - 44 歳		70
45 - 49 歳		70
50 - 54 歳		70
55 - 59 歳		70
60 - 64 歳		70

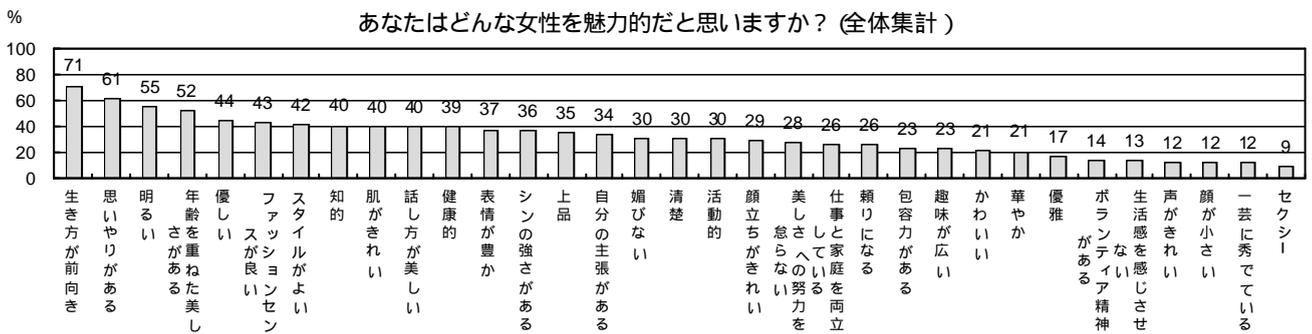
調査対象者抽出法 エリアサンプリング方式  
調査方法 個別訪問面接聴取法、及び、留置き法の併用  
調査機関 2003 年 6 月

・結果

1. 「魅力的だと思う女性は？」

現代女性は、どのような女性を“魅力的”としてイメージしているのでしょうか。今回の調査において、「あなたはどんな女性を魅力的と思いますか？」との設問に、【顔】【スタイル】【ファッション】【性格】【知性・教養】【品性・たしなみ】【ライフスタイル】に関わる評語 33 項目の中から回答数に制限を付けずに答えてもらった。910 名全体集計の結果では、平均 10.4 件の回答数があり、【生き方】【思いやり】【明るさ】【年齢を重ねた美しさ】【優しさ】と続いて、魅力的女性として、【ライフスタイル】や【性格】に関わる評語が上位を占めていた。容姿に関わる項目は、【スタイル】7 位、【肌の美しさ】9 位、【顔立ち】19 位と中位に止まっていた。【セクシー】は最下位で 9%の得票しかなかった（図 1）

図 1



イメージする魅力的な女性像の回答から、回答者の分類を試みた。910 名の回答者をクセ分析により 4 群に分類して、回答されている評語の傾向から「高感度全方位型(95 名、10.4%)」、「積極外向型(132 名、14.5%)」、「教養たしなみ型(125 名、13.7%)」、「消極低関心型(558 名、61.3%)」と命名した（図 2-4）。

「高感度全方位型(95 名)」は平均年齢が最も低く、選択肢 33 項目から平均 21.5 項目を選んで、【顔】【スタイル】【ファッション】【性格】【知性・教養】【品性・たしなみ】【ライフスタイル】のあらゆる分野に対して反応を示していた。さまざまな項目を積極的に女性の魅力として肯定的に回答してきていた。【セクシー】に票が集まっている(52%)のはこの群のみであった（図 2）。「積極外向型(132 名)」は、平均年齢 30.4 歳で、14.0 件の回答を寄せているが、【スタイル】に次いで、【性格】【優しさ】が上位を占めていた。「高感度全方位型」との際立った相違は、【品性】【知性】【立ち居振る舞い】【華】に関して評価が低いという点であった（図 3）。「教養たしなみ型(125 名)」は平均年齢が 40.9 歳と最も高く、14.2 件の回答数であったが、【生き方】【年齢を重ねた美しさ】が上位に来ているのが特徴であった。【知性】【性格】【品性】【ライフスタイル】の主張が並ぶが、【顔立ち】に対する評価は極めて低かった（図 4）。「消極低関心型(558 名)」は平均年齢 38.0 歳で全体の 6 割を占めているが、回答数 6.8 件で関心度の低い群であった。【生き方】が 64%の得票であるが、それ以降の、【思いやり】【年齢を重ねた美しさ】等々いずれも 50%以下の支持率になっていた（図 5）。分類した 4 群全群について、【思いやり】が上位を占めており、【気遣い・気配りができること】を魅力的な女性の大きな要素として捉えていることが窺われた。【スタイル】は後 2 群では、それぞれ 25%、23%と低く、「高感度全方位型」「積極外向型」と好対照をなしていた。平均回答数からも明らかのように、女性観ないしは理想とする女性像に対する思い入れの多寡が極めて顕著に現れており、「高感度全方位型」では、50%以上の得票のあった項目は 27 件を数えたのに対して、「消極低関心型」では、1 位【生き方が前向き】の 1 件(64%)のみで、この群が示す女性の魅力のイメージは明確ではなかった。あらゆる項目を女性の魅力としてイメージする群がある一方で、6～7 項目を想起するに止まる群が対極として現れた。

表 1 に、各群それぞれの名称と人数、平均年齢、回答件数、回答率の上位 5 位までを示した。

図 2

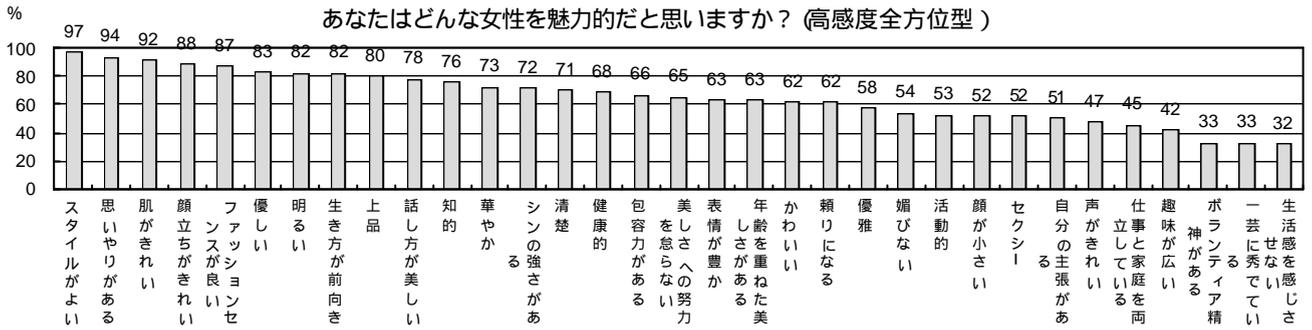


図 3

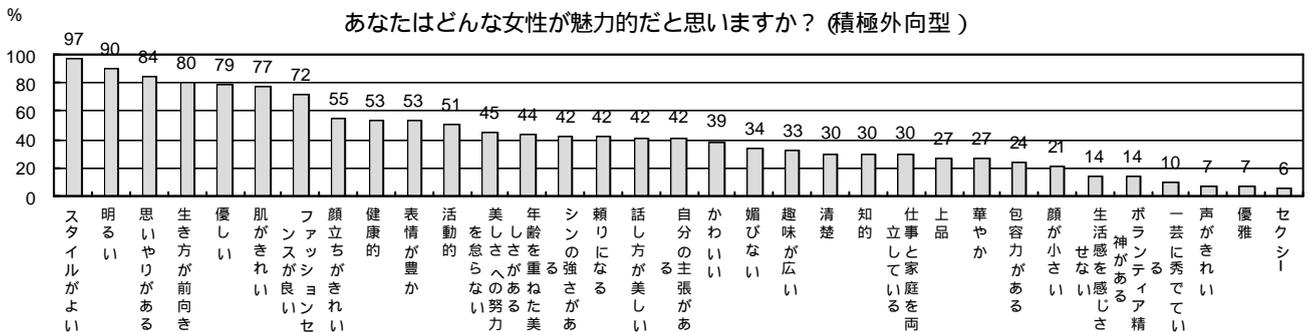


図 4



図 5

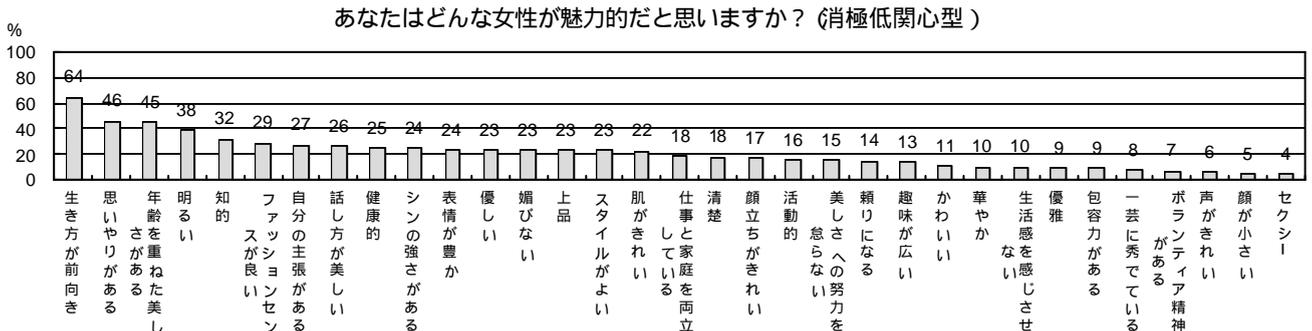


表 1

魅力的だと思う女性

名称	高感度全方位型	積極外向型	教養たしなみ型	消極低関心型	全体
人数(人)	95	132	125	558	910
平均年齢(歳)	29.2	30.4	40.9	38.0	36.4
平均回答数(件)	21.5	14.0	14.2	6.8	10.4
1位(%)	スタイルがよい(97%)	スタイルがよい(97%)	生き方が前向き(84%)	生き方が前向き(64%)	生き方が前向き(71%)
2位(%)	思いやりがある(94%)	明るい(90%)	年齢を重ねた美しさ(81%)	思いやりがある(46%)	思いやりがある(61%)
3位(%)	肌がきれい(92%)	思いやりがある(84%)	思いやりがある(79%)	年齢を重ねた美しさ(45%)	明るい(55%)
4位(%)	顔立ちがきれい(88%)	生き方が前向き(80%)	話し方が美しい(71%)	明るい(38%)	年齢を重ねた美しさ(52%)
5位(%)	ファッションセンス(87%)	優しい(79%)	明るい(70%)	知的(32%)	優しい(44%)
50%以上獲得項目(件)	27	11	13	1	4

各群の属性について、年齢分布を詳しく見ると(図5)、「高感度全方位型」は、【19~23歳】に大きなピークを持つ若年層に多く、【45歳以降】の割合は非常に少なくなっていた。「積極外向型」は【15~19歳】での21%を筆頭により若年側に分布しており、【35歳以降】では数値は低くなっていた。「教養たしなみ型」は、【15~19歳】で極めて低く、【45~49歳】【55~59歳】で突出している以外は、ほぼ全年齢層に万遍なく分布していた。「積極外向型」と「教養たしなみ型」とは若年側、高年側で対称的な分布パターンを見せており、既婚者の割合は、「積極外向型」で47%に対し「教養たしなみ型」では70%に上っていた。「高感度全方位型」の既婚者は39%で最も低かった(図6)。「消極低関心型」は、【15~19歳】で低い以外、特徴のないほぼ平均的な分布を見せていた。若干の傾向は見られるものの、年齢分布からは、若年層、中年層、高年層といった年代別に各群を区別することができなかった。このことは図7に見られる、年代別の回答数を見ても明らかであり、各年齢層に多数回答者と少数回答者が混在していることが示唆されていた。

図 5

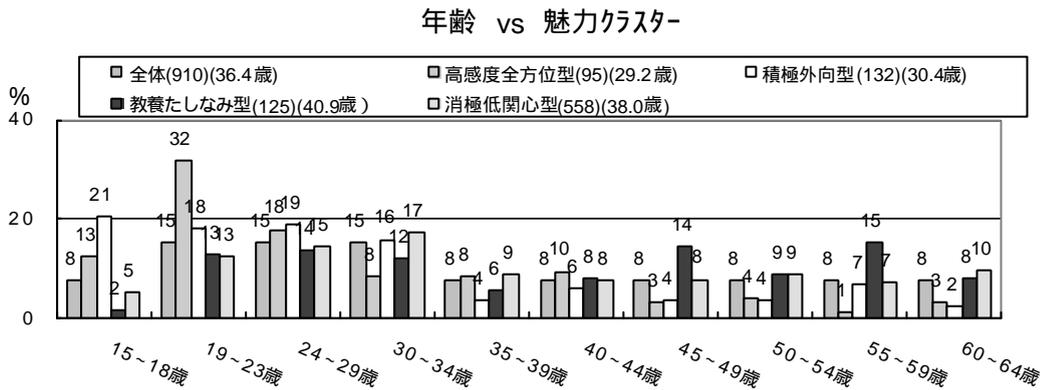
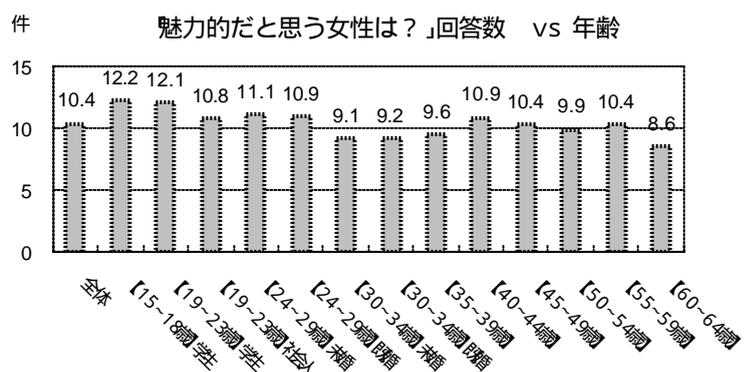
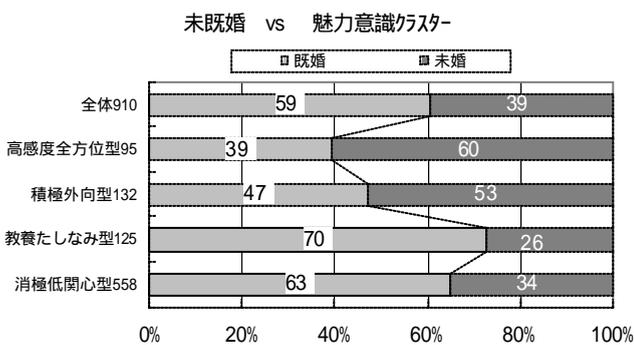


図 6

図 7



## 2. 魅力的になるための気配り

魅力的になるために現在行っている気配りと今後行いたい気配りを聞いた。「全体」の結果を見ると、「現在の気配り」では、【衣服】【素肌の美しさ】【メイクアップ】【ヘアスタイル】【心の美しさ】と続き、上位4位まで外見的な項目が占めていた。「今後の気配り」では【知識・教養】【心の美しさ】【動作・立ち居振る舞い】が1、3、4位に並び、今後に向かって内面を磨いていくという意識が見られた(図8)。各群においても、「現在の気配り」の1位はすべて【衣服】であり、「教養たしなみ型」で【知識・教養】【話し方】が、「消極低関心型」で【知識・教養】が5位以内に入っている以外、項目に目立った差異は見られなかった。「今後の気配り」と合わせて、「魅力的になる気配り」に関しては、4群ともにむしろ類似した傾向が見られた(表2)。

図8

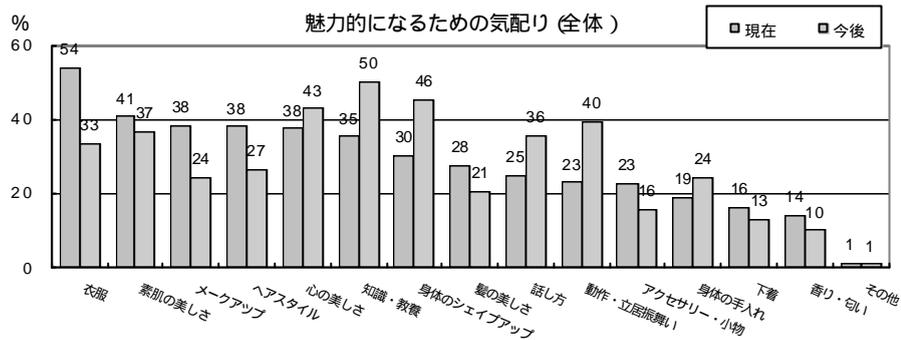


表2

魅力的になるための気配り

		1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
高感度全方位型(95)	現在	衣服(77%)	メイクアップ(64%)	素肌の美しさ(59%)	ヘアスタイル(58%)	心の美しさ(57%)
	今後	知識・教養(72%)	心の美しさ(66%)	身体のシェイプアップ(64%)	動作・立居振る舞い(60%)	素肌の美しさ(54%)
積極外向型(132)	現在	衣服(61%)	素肌の美しさ(54%)	メイクアップ(53%)	ヘアスタイル(49%)	髪的美しさ(39%)
	今後	身体のシェイプアップ(53%)	知識・教養(48%)	衣服(48%)	素肌の美しさ(47%)	心の美しさ(46%)
教養たしなみ型(125)	現在	衣服(55%)	素肌の美しさ(50%)	心の美しさ(48%)	知識・教養(48%)	話し方(40%)
	今後	知識・教養(62%)	動作・立居振る舞い(62%)	心の美しさ(54%)	身体のシェイプアップ(54%)	話し方(51%)
消極低関心型(558)	現在	衣服(48%)	知識・教養(35%)	素肌の美しさ(33%)	ヘアスタイル(33%)	心の美しさ(32%)
	今後	知識・教養(45%)	身体のシェイプアップ(39%)	心の美しさ(36%)	動作・立居振る舞い(31%)	素肌の美しさ(29%)
全体(910)	現在	衣服(54%)	素肌の美しさ(41%)	メイクアップ(38%)	ヘアスタイル(38%)	心の美しさ(38%)
	今後	知識・教養(50%)	身体のシェイプアップ(46%)	心の美しさ(43%)	動作・立居振る舞い(40%)	素肌の美しさ(37%)

## ・ 結語

- ・「魅力的な女性とは？」との設問に対し、全体では平均 10.4 件の回答があり、【生き方】【思いやり】【性格】【年齢を重ねた美しさ】が上位に集まった。
- ・「魅力的な女性とは？」と訊いて得られた回答を分析することによって、あらゆる項目へ反応した「高感度全方位型(95名)」、【スタイル】や【性格】【優しさ】を挙げた「積極外向型(132名)」、【生き方】【年齢を重ねた美しさ】【知性】【ライフスタイル】を支持した「教養たしなみ型(125名)」、余り関心を示さない「消極低関心型(558名)」の4群に分類した。
- ・「魅力的な女性とは？」と訊いて得られた回答は、必ずしも回答者自身の魅力に対する努力とは一致していなかった。「なりたい自分」というよりは、「理想(あこがれ)の女性像」をイメージした回答ということが考えられた。
- ・「高感度全方位型」に見られるように、あらゆる項目に対して積極的に女性の魅力を評価するという、前向きで幅広い可能性を持った女性像を打ち出す一群が抽出されてきたことは興味深いことである。また、この4群は必ずしも年代別には括られてはいなかった。